

平成30年度 関町小学校の学校経営方針の骨子

☆ 知（育）、徳（育）、体（育）のバランスのとれた児童の育成を目指します ☆

* よく学び、心身ともに健康な“自分も友達も大切にする児童”を育てます

本校の児童の実態から、自ら学ぶ態度、自己肯定感や思いやりの心などを育てるために人権教育を基盤に、“生きる力”や“総合学力”（教科学力・社会的実践力・学びの基礎力）を育成したいと考えます。そのために、

具体策(1) 具体的な改善策やシステムを基に「学力向上の課題」に向けて取り組みます

※ここでの「学力」は子供たちに生きる力を育むための広い“力”とし、

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を習得する力
- ② 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力
- ③ 学びに向かう力、人間力 とします

これらの能力の育成を念頭に区の教育ビジョンや諸施策を踏まえて次のことを行います。

ア 力のある教師を育てます

- ・年6回の研究授業やOJTなどにより、全教職員の指導力を向上させます。
- ・「ルーブリック」の評価手法を取り入れた指導と評価が一体化された授業を実践します。

イ 質の高い教育（学習）を提供します

- ・主体的で対話的で深い学びを意識した授業により、児童の能力を育成します。
- ・教科学力の向上（特に算数）を目指し習熟度別指導をさらに充実させ、実施します。

ウ 小中一貫教育と幼保小連携教育を推進します

- ・小中一貫教育実践校の2年目として、これまで同様に継続した取組を実施します。
- ・教職員の研修をさらに充実させ、幼児・児童・生徒理解を進めます。

エ 学校・地域連携事業により、外部人材を活用した教育活動や取組を一層推進します。

オ 家庭学習の質を高め、児童の**学びの基礎力**とともに**探究力**を向上させます。

具体策(2) 関町小のアイデンティティーを確立し、子供の豊かな成長を支えます

ア 21世紀を生き抜く児童の育成すべき3つの資質・能力（①何を知っているか・何ができるか、②知っていること・できることをどう使うか、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）を常に念頭に置いた、グローバル社会に対応できる児童を育成します。

イ 人権教育をベースにした**心の教育（新しい道徳教育）**を通じて、自分を大切に、友達も大切にする教育を一層推進し、“笑顔あふれる学校づくり”を推進します。

ウ 外国語活動の指導時数増に伴う総合的な学習の時間での活動の見直しや全教科・領域による意図的な指導により、現代に必要とされる**社会的実践力（活用・探究力）**を育成します。

エ 望ましい生活態度を育むために、**家庭と学校との連携を強化**し、生活指導を充実させます。

オ **オリンピック・パラリンピック教育**と連携して体力の向上を図り、学校での取組に加え、家庭の協力を得ながら運動の量の確保と、運動の質を高める工夫を継続します。